

# 豊橋市災害廃棄物仮置場 設置・運営訓練

日 時 令和7年11月25日(火)13:50~15:00  
場 所 株式会社ミダック豊橋営業所(東細谷町字一里山200)  
参 加 者 59名(うち協会員11名)

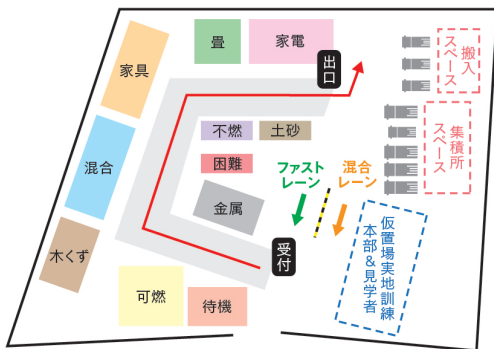
豊橋市は、株式会社ミダック豊橋営業所において、愛知県産業資源循環協会 東三河支部(鬼頭秀幸支部長)をはじめ関係団体の協力を得て、豊橋市では2回目となる災害廃棄物仮置場設置・運営訓練を行いました。実施にあたり、公益財団法人 廃棄物・3R研究財団のコーディネートのもと入念な準備を行いました。

訓練の冒頭で、豊橋市環境部 田中久雄部長より、「お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。南海トラフ地震が発生した場合、122万トンの災害廃棄物が発生すると想定されています。迅速に処理を開始できるよう、発災時に迷わないための実りある訓練にしたいと思います。」、続いて鬼頭支部長からは、「災害はいつ起こるか分かりません。本日の訓練をしっかりと取り組み、いざという時に備えてください。豊橋市が主体となり訓練が実施でき、ミダック様に会場をご提供いただけることに感謝します。訓練の目的を意識し、終了後はぜひ振り返りに役立ててください。」と、あいさつされました。

実施訓練では、①市民搬入(市民が直接搬入する場合の受付から保管まで)、②事業者搬入(集積所での回収から一次仮置場における受付・保管まで)、③搬出(一次仮置場[保管状態]から場外搬出まで)の3つの流れをそれぞれ担当しながら進められました。

また、訓練全体を支えるため、①災害廃棄物処理の全体総括、②報道対応、③仮置場での受付・誘導・分別、④災害廃棄物の搬入・搬出、⑤環境測定および集積所管理の5つの

## 〈設置する仮置場レイアウト(実施訓練当日)〉



愛産協災害廃棄物処理対策特別委員会  
山本浩也委員長



豊橋市一般廃棄物  
処理事業協同組合  
氏原憲志氏



東三河廃棄物  
処理事業協同組合  
長崎正敏氏

役割に分かれ、細部にわたり人員が適切に配置されました。

愛産協の災害廃棄物処理対策特別委員会の山本浩也委員長からは、冷雨の中での訓練お疲れ様でしたとねぎらいがあり、「図上演習から当日の実施まで一連の流れで検証できたこと」、「豊橋市・豊橋市一般廃棄物処理事業協同組合・東三河廃棄物処理事業協同組合・愛産協の3団体が一体となって取り組めたこと」、さらに一宮市・西尾市・湖西市が役割を担い参加した点が大きな成果として挙げられました。

豊橋市一般廃棄物処理事業協同組合 氏原憲志氏からは、「実際の発災時に今日のメンバーが揃うとは限らないため、多くの方が知識と経験を持つことが重要」と述べられ、継続的な訓練の必要性が示されました。

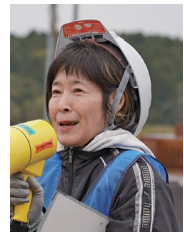
東三河廃棄物処理事業協同組合 長崎正敏氏からは、「発災時の分別協力により復旧・復興を早めること」「市民に寄り添う姿勢の大切さ」がコメントされました。

株式会社ミダック 永野遼氏からは、「豊橋市との協定には、地元に貢献したいという思いがある」との説明があり、平時から官民一体で取り組む重要性が改めて示されました。

公益財団法人 廃棄物・3R研究財団 中山育美氏からは、「受付時の説明強化」「家電類の細かな確認・分別」など具体的な改善点が提案され、より実効性の高い運営を目指すべきとの講評をいただき訓練は終了しました。



(株)ミダック 永野遼氏



(公財)廃棄物・3R研究財団  
中山育美氏